

平成30年度 第3回 がんサロン和み

平成31年1月19日土曜日午後1時より、「がん治療を乗り切るための漢方」をテーマに当院漢方医学科 岡本英輝医師による講演会を開催しました。当院入院・通院中の患者様計10名にご参加いただきました。岡本医師は漢方医学と並行し、当院の緩和ケアチームで精神症状を担当しています。



漢方は、日本古来の伝統医学です。がん治療における漢方の役割は、がんそのものに効果を示すというよりも、「抗がん治療のサポート」あるいは

「つらい症状をやわらげるための一手段」として位置付けられています。たとえば、抗がん治療中に生じる食欲不振倦怠感、関節の痛み・こわばり、ほてり、冷え、皮膚乾燥、めまい、しびれなど、西洋医学が奏効しないような症状に対し、効果が期待できます。



講演のなかでは、肺がんや乳がん治療中における漢方でのサポートについて紹介がありました。

ご参加いただいた方からの質問は途切れることなく、漢方への期待・関心がとても高いことを感じました。具体的には「漢方について誤解していたことがあった」、「これから長い闘病生活において漢方の選択肢があることを知り有益だった」などのご意見をいただきました。また、終了後のアンケートでは、がんサロンに対するご要望もいただきました。今後の運営に繋げていきたいと思います。

岡本医師の漢方外来は、毎週月曜日・金曜日です。漢方でのサポートについて、さらに詳しく相談をご希望の方は、当院外来の方へお越しください。

次回は2019年3月9日、「がん治療中の脱毛・頭皮ケア」をテーマにサロンを開催予定です。事前申し込みは不要です。

